

森のかおり
物入収納両開ユニット

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

部品構成

【枠梱包】

部 品 名	数量
縦枠(左右)	2
鴨居	1
枠組立ビス	4
躯体取付ビス	6
カバー付ビス	2

枠組立ビス
躯体取付ビス



3.4×60

カバー付ビス

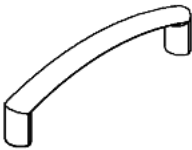


4.5×47

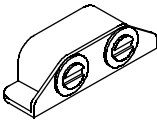
【扉梱包】

部 品 名	数量
ハンドル(ビス付)	2
スライド丁番(座・ビス付)	6
マグネットキャッチ	2
扉(左右)	2

ハンドル(ビス付)

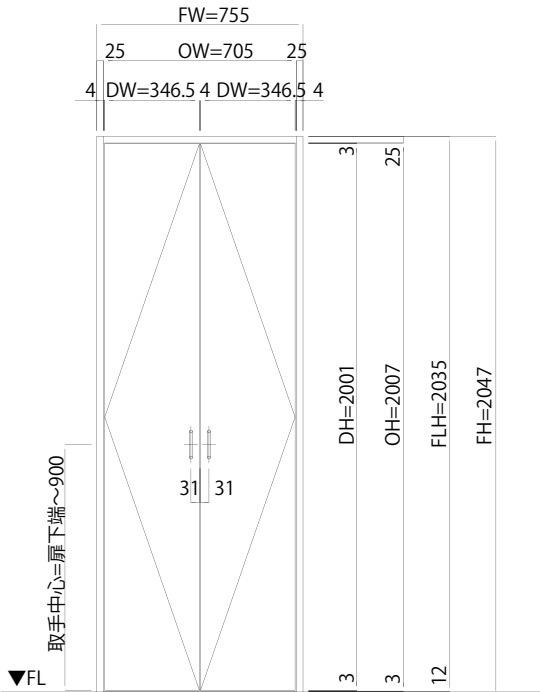


マグネットキャッチ

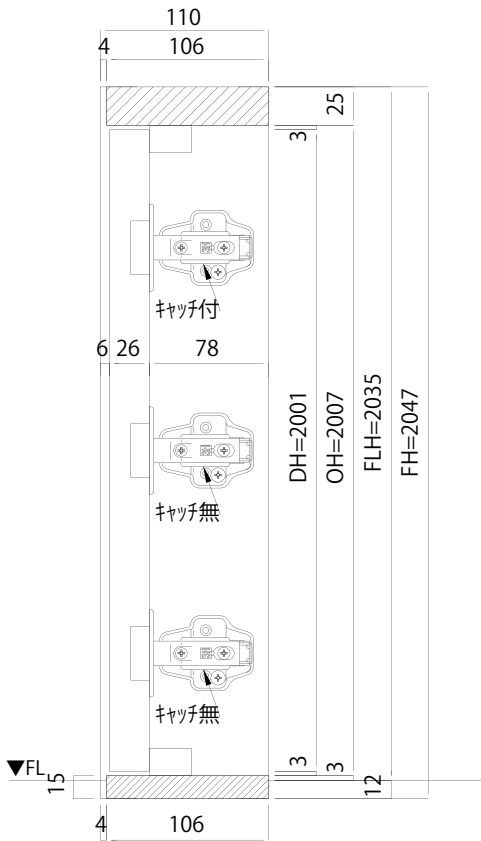


製品寸法図

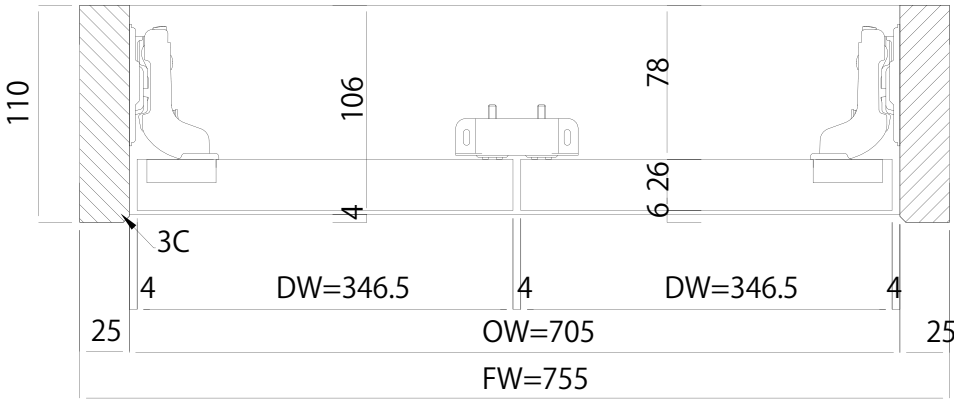
姿図



縦断面図



横断面図



1. 枠の組立て・取付け

① 枠をビスで組み立ててください。組み立てた枠を、躯体取付ビスとカバー付ビスを使って躯体に固定してください。

注意 垂直・水平を必ず確認してください。

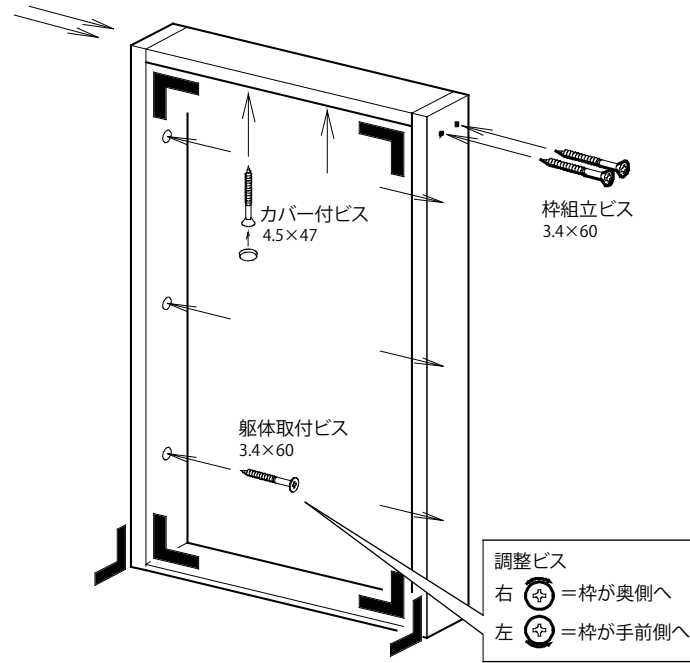
② カバー付ビスで縦枠の建付けを調整してください。

カバー付ビスの使い方

- カバー付ビスは、枠の固定と調整を兼用するビスです。
- カバー付ビスで、縦枠の下穴より躯体に取り付けてください(プラスドライバー使用)。
- 下げ振りなどで確認しながら、プラスドライバーでビスを回して、建付けを調整してください。

注意 カバー付ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

③ 縦枠に穴キャップを取り付けてください。



2. 部品の取付け

《ハンドルの取付け》

① 扉の裏面からビスを差し込み、ハンドルをビスで取り付けてください。

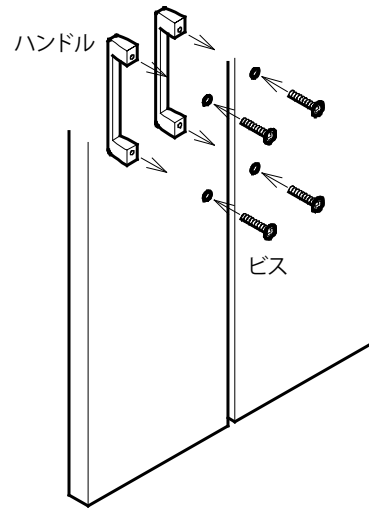
《マグネットキャッチの取付け》

① マグネットキャッチを付属のビスで扉の間に取り付けてください(上下2ヶ所)。

《スライド丁番・扉の取付け》

① スライド丁番の座金を付属のビスで枠に取り付けてください。

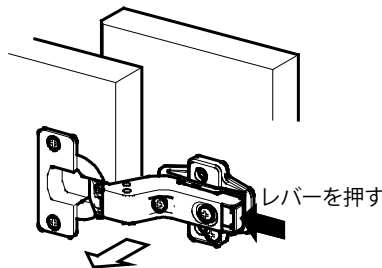
② スライド丁番を付属のビスで取り付け、扉を枠に取り付けてください。



《扉の外し方》

● スライド丁番の後部のレバーを押すと、丁番が座金から外れ、扉を枠から外すことができます。

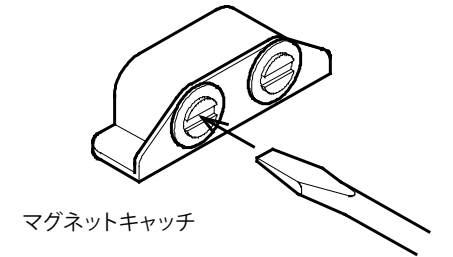
● 取り付ける場合は、丁番を座金の元の位置に押し込むだけでワンタッチで取り付けられます。



3. 建付け調整

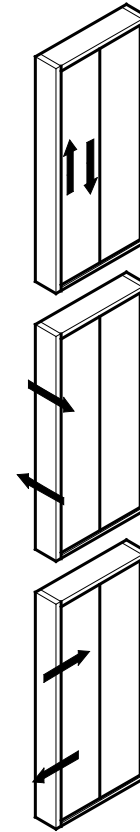
《戸先の前後調整》

- マグネットキャッチのマグネット部をマイナスドライバーで回し、マグネットが前後に移動することで、戸先の前後調整ができます。



《スライド丁番による調整》

- スライド丁番で、扉の上下、前後、左右の調整ができます。



① 上下調整

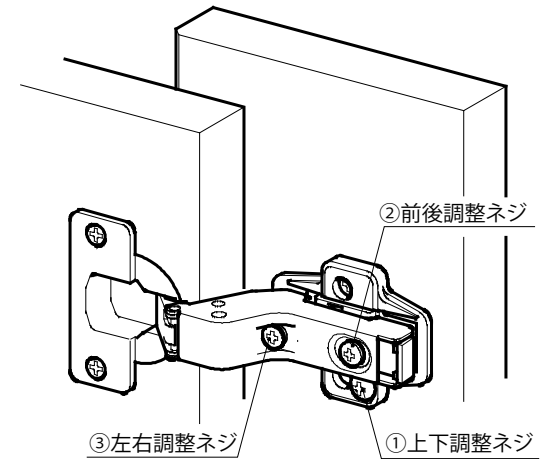
座金の上下調整ネジをゆるめ、扉を上下に移動させた後、締め直してください。

② 前後調整

丁番の前後調整ネジをゆるめ、扉を前後に移動させた後、締め直してください。

③ 左右調整

左右調整ネジを回すと、扉が左右に移動します。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆ 取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※ 枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
- 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。

※ 縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。